

岡村電産のアパレル向け照明「アパレルグー」 文化学園大学生100人対象に実験

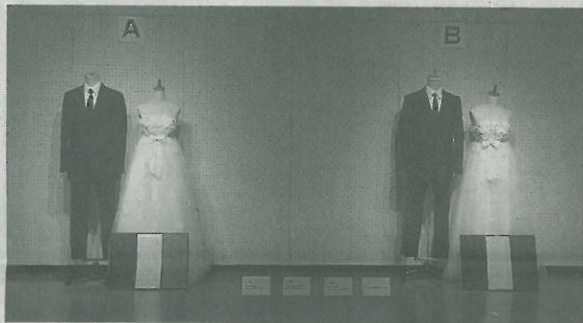
鮮やかさ、素材感を比較

照明器具メーカーの岡村電産（千葉県、岡村幸雄社長）は、同社が昨年発売したアパレル向けのLED（発光ダイオード）照明器具「アパレルグー」と、一般的な高演色LED照明の比較実験を、文化学園大学の学生100人の協力を得て実施した。

10〜20代前半を対象にしたファッション店を想定し、商品名や特性などは伏せて実験した。参加者は投票形式で評価した。

白いシャツと紺のネクタイ、黒のスーツと、白いウエディングドレスのコーナーでは「どちらが白く見えるか」「どちらの黒がきれいに見えるか」などを質問した。また、服に使われる

多様な生地を張ったカラーパネルのコーナーでは、「どちらが鮮やかに見えるか」「素材感が鮮明なのはどちらか」を質問した。



左がアパレルグー、右が一般的な高演色LED照明

どちらが白く見えるかはアパレルグー（A）を選んだのが95人、高演色LED（B）が5人、黒がきれいに見えるはAが64人、Bが36人。また、「どちらが商品として魅力的か」という

設問はAが69、Bが31人だった。

Aを選んだ学生は「華やかに見える」「色ははっきりしている」「色の差が分かりやすい」などと評価、Bを選んだ学生は「柔らかな色が好き」「落ち着いた色味」「温かみがある」などコメントした。